



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第21号

令和4年2月8日発行

文責 校長 宮地 浩幸

給食調理員さんにお礼

1月25日(火)に給食週間の行事として、調理員さんにお礼を言う会を実施しました。給食は学校生活、特に午後からの授業をしっかり頑張るためのエネルギー源です。毎日毎日みんな元気で学校生活を送れるのも学校給食のおかげといっても過言ではありません。毎日朝から、子ども達や職員のために美味しい給食を作ってください調理員の方にはお礼の言葉しかありません。会では子ども達を代表して、中学2年生がお礼の言葉を述べた後、全部の調理員さんにメッセージを含めた色紙をプレゼントしました。調理員さんたちからは「これからも美味しい給食を作るのでしっかり残さずに食べてください。」「食器の返却時に『給食美味しかったです。』とお礼を言ってもらうのが励みになりました。」などの言葉がありました。このような光景は、本当に心が温まります。



コンプレックスをエネルギー源に

先日テレビで「コンプレックスをエネルギー源に変えている人たちは素晴らしく、充実した日々を過ごせる。」という話がありました。この内容に、賛同します。ほとんどだれでも自分を完璧だと思っている人はいないと思います。多かれ少なかれ自分の中にコンプレックスがあり、それをどのように克服するか悩んでいるのが普通です。例えば、私が部活動で男子のバレーボールを指導していた時、よそのチームにとっても背の低いセッター(アタッカーにトスを上げる人)がいました。ネットの下をかがまなくても通れるくらいの背丈でした。バレーボールは背が低いと絶対的に不利です。しかし、彼は背が低いことを武器にレシーブ力を鍛え、素早くトスを上げる練習を行うことにより、ブロックが追い付けないような速いトス回しができるようになりました。背が低いために、ボールの下に入る事が他の生徒よりも優位にできるようになったのです。彼は、コンプレックスをエネルギー源に変えた典型的な生徒だと尊敬しています。



学校は、子どもの数が少ないことを強みとし、子どものニーズに合った教育を展開しています。子ども達も、何か自分にコンプレックスを持っていると思います。それが今後生きていくうえで高みを目指すバネになってくれることを期待します。

小学生のスピーチ

1月26日(水)に小川小学校と合同スピーチを行いました。発表者は本校小学2年生。テーマは「冬

休みに嬉しかったこと」です。その発表をきっかけに、子ども達は冬休みの思い出について、様々な話をしてくれました。印象的だったのが、「正月、島にお兄さん、お姉さんが帰ってきてくれたこと。」や「正月、親戚の子（いとこ）と会えた。」など人とかかわりに関することでした。どうしても、島の学校は児童生徒が少ないために、それぞれの関わり合いは深くなりますが、子ども達は広範囲の人たちとの関わり合いを欲しているんだなあと感じました。ところで、子ども達の話の中に私には耳慣れない言葉「シンカリオン」がありました。子ども達は、何の障害もなく会話を続けていましたが、小学5年生から「シンカリオンって何ですか？」と質問がありました。シンカリオンとは新幹線から変身するキャラクターのことだそうです。これを聞いて、小学校の学年間でもゼネレーションのギャップがあるのかなとちょっと微笑ましくなりました。

学校の方では、子ども達への育成目標として「実践的コミュニケーション能力の育成」を掲げているわけですが、具体的方策として離島間での合同スピーチを手立てとしているところがあります。本校の年齢構成が低学年が多いことから、練習も兼ねて、1月28日（金）に校内の小学生だけでスピーチタイムを実施しました。子ども達のこれまで頑張ったこと、これから頑張りたいことなど話し合いは活発に進行しました。そして、先生からこれまでにできていなかったことの指摘がありました。例えば挙手の仕方、話の聞き方、視線の向け方などです。加えて、話し合いの司会者にも注意すべきことを伝えてもらいました。数年後現在低学年の子ども達が、上手に他校との話し合いを運営してくれると期待します。



まだまだあった表彰

学校だより第20号で本年度の表彰一欄を示しましたが、記載漏れがあったようで失礼しました。子ども達から指摘を受けて、追加で記載します。表彰の数がさらに増えることは学校としても名誉なことですし、グレードが高い方に統一していたものもあるようでした。県大会や全国大会に行くためにはラウンドの低い大会で当然表彰を受けています。また、大きな表彰を受けたために別の表彰を受けるようになったというのもありました。いずれにしても子ども達の頑張りは全てお知らせしなければ子ども達にも失礼です。改めて見直すと子ども達の頑張りを本当に実感できます。（その後も多くの賞状が学校に届いています。全て記載できていなくて申し訳なく思います。）

| 校種 | 学年 | 審査会名/大会名/他 ※正式名（年度含む） | 成績 |
|----|----|-------------------------------|------|
| 小 | 3 | 全国書画展覧会 | 銀賞 |
| 小 | 5 | スポーツエントリーアカデミーSAGA・テニス ネクスト選手 | |
| 中 | 2 | 唐津市教育長賞 | |
| 中 | 2 | 県理科研究発表会唐津地区審査会 | 特選 |
| 中 | 2 | 佐賀県教育委員会表彰 | |
| 小 | 5 | 九州選抜ジュニアダブルス選手権佐賀予選 | 準優勝 |
| 小 | 5 | 2022九州ジュニアサーキット | 準優勝 |
| 中 | 2 | 佐賀県北方領土作文コンクール | 優秀賞 |
| 小 | 3 | 新年書き方会 | 支部入選 |
| 小 | 5 | 新年書き方会 | 支部入選 |
| 中 | 2 | 新年書き方会 | 支部入選 |

大人になってしたい仕事？

2月4日（金）小学生によるスピーチタイムで「大人になってしたい仕事」の話し合いをしました。「髪切りをしたい。」「病院の先生」、「店員さん」、「ものづくりに関わる仕事」などそれぞれに考えていることはあるようです。そこで子ども達に、「お父さんやお母さんが何のお仕事をされているか知っていますか？」と尋ねるとみんな何をされているかしっかり答えることができます。小学校の低学年の子ども達は、今どんな仕事があるのか、たくさん知って欲しいと思いました。

学校では、数年前からキャリアパスポートを作成するようになっていきます。小学校から中学校、高等学校へと職業をきっかけとして、自分の生き方を設計できる指導を継続的にを行います。そういう意味で今回の話し合いは大変面白いものでした。

